

7. 現場の見える化を動画や計測値を利用したクラウドサービスで

バックアップできるシステム「クラウド16PLUS」

臨場感を持った記録データで現場のカイゼンをサポート

○ 西尾レントオール株式会社 山口 秀樹

見える化から始まる現場の分析→改善

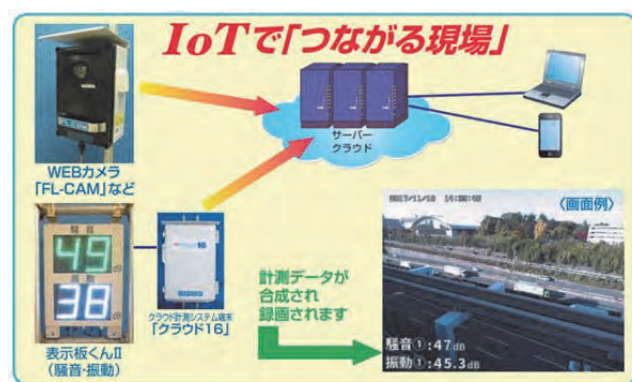
本技術はクラウドサービスを利用し現場の見える化を、計測システムやWEBカメラでサポートしていく技術です。昨今WEBカメラ自体は急速に普及し、安全・防犯・環境対策において建設現場での利活用も増加しています。「クラウド16PLUS」は、WEBカメラから得られる動画情報を、クラウドに上げ、特定多数の関係者がモニタリングできることはもちろん、一定期間動画を保存しておける為、過去の履歴もすぐに検索できるシステムです。加えて、本システムの特徴は、現場内で計測している騒音・振動・風速・温度・雨量・粉塵・ガス濃度等の環境計測値や、法面崩落を管理する際の動態観測の測定値等を1画面で合成表示可能な事です。動画と計測値を時系列に保存し測定値が大きかった時間帯を抽出し、その時現場がどのような状態だったかを動画ですばやく確認可能で、現場の見える化をサポートします。動画はHD画像や全方位画像などにも対応可能です。



異常発生時や計測値が予め設定した警戒値を超えた場合には、現場内に設置したパトライトやアラームを

起動させることができます。またインターネットを通じ、登録した電子メールに自動的に異常を通知する事も可能です。

モニタリング画面自体は、パソコン・タブレット・スマートフォン等、媒体を限定せずあらゆるブラウザで表示が可能となっており、IDとパスワードを保有した対象者は、時間・場所を選ばずモニタリングすることが出来ます。また特定の権限者はカメラの方向・拡大縮小も自在に変更できる為、広範囲なエリアを1台のカメラでフォローができます。



現場では刻々と状況が変化し、それに応じて安全・環境性を高めたり、効率化を進める為の対策立案が不可欠です。その際の判断材料として、動画及び計測値が一体となった克明な記録が残っていることは、有効な対策を立案する際に非常に役立ちます。「クラウド16PLUS」は標準で1ヶ月のデータをクラウド上に残すことが可能で、手元に保存するためのダウンロード機能も充実しています。

尚、本技術は、2018年7月にNETISに登録され、ますます活用の効果が期待されるものとなっております。

(NETIS 番号: KT-180043-A)

デモ画面: <http://nishi202.dyndns.biz/login/index> ID: cloud16 パスワード: cloud16pwd

